製品安全データシート

改訂日：2008年4月20日

1. 製品及び会社情報

製品名	フタル酸ジ-n-ブチル
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町２丁目３番１１号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業（株）三国工場
整理番号	FC0385

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）： 区分5
皮膚腐食性・刺激性： 区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2B
皮膚感作性： 区分1
生殖毒性： 区分2
特定標的臓器・全身毒性： 区分1(腎臓、神経系)
（単回ばく露） 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性： 区分1(呼吸器)
（反復ばく露） 区分2(精巣、肝臓)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性： 区分1

＊記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ（経口）
軽度の皮膚刺激
眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓、神経系の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による呼吸器の障害
長期又は反復ばく露による精巣、肝臓の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
適切な保護手袋を着用すること。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
【救急措置】
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
漏出物は回収すること。
【保管】
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成､成分情報

単一製品･混合物の区別	単一製品
化学名	フタル酸ジ-n-ブチル
別名	ジ-n-ブチルフタレート，DBP
成分及び含有量	９９％以上
危険有害成分	フタル酸ジ-n-ブチル
化学式又は構造式	◇分子式…Ｃ１６Ｈ２２０４ ◇示性式…Ｃ６Ｈ４（ＣＯＯＣ４Ｈ９）２
官報公示整理番号	◇化審法…（３）－１３０３ ◇安衛法…公表
CAS No.	８４－７４－２ ◇TSCA…有り ◇EINECS…２０１５５７４

4. 応急措置

眼に入った場合	１．直ちに大量の流水で１５分間以上洗い流す。 ２．ときどき上、下のまぶたを引き上げる。 ５．医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	１．直ちに大量の石けんと水で洗い流す。 ２．汚染した衣服、靴を脱がせる。再使用前に洗浄する。 ３．洗った後でも痛みのある場合は医師の診断を受ける。
吸入した場合	１．新鮮な空気の場所へ移す。 ２．呼吸停止の場合は人工呼吸。 ３．呼吸困難な場合は酸素吸入。
飲み込んだ場合	１．飲み込んだ場合は水でうがいする。 ２．医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	
消火要領	１．小規模な場合は、二酸化炭素、粉末、泡消化器が有効である。 ２．大規模な場合は、泡又は水噴霧で消火する。
消防活動装備	１．防護衣。 ２．空気呼吸器。 ３．循環式酸素呼吸器。 ４．ゴム長靴。
消火剤	１．水、耐アルコール泡、二酸化炭素、粉末。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法	１．危険区域からの撤退。 ２．漏洩物を完全除去、区域の換気、清掃。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項	胎児に害を及ぼすことがある。生殖機能を損なうリスクの可能性がある。水生生物に対して非常に有毒である。
安全取扱い注意事項	曝露を避ける。取り扱う前に特別の指示を受ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（出来ればﾗﾍﾞﾙを見せる）。環境中への放出を避ける。特別な指示/製品安全データシート(MSDS)を参照する。
取扱い	１．裸火禁止。 ２．火花禁止。 ３．作業中は飲食、喫煙をしない。
保管	１．耐火構造。
安全な容器包装材料	ガラス。

8. 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項	１．火気厳禁とする。
許容濃度	ACGIH（２００３年） TLV－TWA　５mg／m３ 日本産業衛生学会勧告値（２００３年）　５mg／m３ OSHA PEL TWA　５mg／m３ MSHA TWA　５mg／m３
設備対策	
安全管理･ガスの検知	１．測定器。 ２．検知管。
貯蔵上の注意	１．耐火構造。
保護具	１．換気。 ２．保護手袋。 ３．安全ゴーグル。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	無色液体。硝酸繊維素の優秀な膠化剤で、塩化ビニル、酢酸ビニル、ポリスチレン、メタクリル酸樹脂に対して強い溶解力がある。オクタノール／水分配係数 log Po/w ： 4.72 。
密度(比重または嵩比重)	1.049
溶解性	水に難溶。エタノール、エーテル、アセトン、ベンゼンに易溶。
pH	該当情報なし
引火点	１５７．２℃（開放式）
爆発限界	下限　０．３％
沸点	３４０℃（常圧）

10. 安定性及び反応性

危険有害な分解生成物	一酸化炭素
加熱･燃焼	危険性有
水との接触	危険性無
空気との接触	危険性無
混触等	危険性有 １．強酸化剤、酸類とは混触させない。

11. 有害性情報

皮膚に触れた場合	１．皮膚吸収は有毒である。

	２．刺激がある。
眼に入った場合	１．蒸気、粉塵は刺激がある。
吸入した場合	１．吸入、飲み込みとも有毒である。 ２．蒸気、粉塵は粘膜、上気道を刺激する。 ３．暴露は吐き気、目眩、頭痛を起こす。
急性毒性	（RTECS）
吸入毒性	マウスLC５０：２５g／m３／２H ラットLC５０：４，２５０mg／m３
経口毒性	マウスLD５０：３，４７４mg／kg ラットLD５０：７，４９９mg／kg モルモットLD５０：１０g／kg
経皮毒性	ラットLDLo：６g／kg ラビットLD５０：＞２０ｍｌ／kg
感作性	日本産業衛生学会；皮膚感作性物質第２群
変異原性	微生物；サルモネラ菌（＋S９）；陽性 染色体異常；ハムスター（生体外）；陽性

12. 環境影響情報

分解性･濃縮性	
分解性	６９％（by BOD）
濃縮性	コイ３．１～２１．２倍（０．０５mg／ｌ） コイ５．２～１７６倍（０．０１５mg／ｌ）
魚毒性	ヒメダカLC５０／４８H　３．４mg／ｌ
	微生物等による分解性が良好と判断される物質（化審法既存点検） 濃縮性がない、あるいは低いと判断される物質（化審法既存点検）

13. 廃棄上の注意

エタノール等の可燃性溶剤と混合し、アフターバーナー、スクラバー付の化学用焼却炉で焼却処分する。環境汚染の原因となるのでそのまま廃棄してはならない。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

IMDG	クラス９（P）　等級III
ICAO／IATA	クラス９　等級III　PAT９１４　Y９１４　CA0９１４
国連番号／国連分類	UN３０８２（環境有害物質、液体）クラス９　等級III

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	第２条第１種指定化学物質
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	第２条危険物第４類第３石油類非水溶性液体（２，０００ｌ）
バーゼル法	第２条特定有害廃棄物等（０．１重量%を超えるもの）
労働安全衛生法	施行令第１８条の２〔名称等を通知すべき有害物（ＭＳＤＳ対象物質）〕
外為法	輸出令別表第２の３５の２項（０．１重量%を超える廃棄物）
海洋汚染防止法	施行令別表第１有害液体物質（A類）
船舶安全法	危規則第３条危険物等級９有害性物質（P）（正９容器等級３）
航空法	施行規則第１９４条危険物その他の有害物件（S等級３）

16. その他の情報

引用文献	化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険･有害性の評価は、現時点で入手できる資料･情報　データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。